



農作業の手引き

果樹 (3~4月)

長元営農指導員



屋根掛けハウス (桜島小みかん等)

今年も消費者ニーズに対応して安心・安全で美味しいみかんを消費者に届けるために基本管理の徹底が大切です。

1. 整枝せん定

園によりバラツキがあるようです。よく園相を確認して管理を行いましょう。園地は隔年結果防止対策として予備枝のせん定を行います。また、花芽の充実を図るため、発芽前から液肥の葉面散布を行います。(発芽前・出蕾期・白花期・満開期)

2. 強風対策

ハウスバンドの締め直しを行い、強風対策を行います。

3. 病害虫防除

- みかんハダニ／3月上旬・中晩柑等越冬期防除の出来なかった園
- アブラムシ類／4月・同一薬剤を連用しない
- 灰色かび病／満開期
- 訪花害虫／発生が多かった園地は開花時期・開花盛期の2回防除

ビワ

果実の生育が進んでいる事と日中の温度が今後上がると予想され病害虫が発生しやすいので被害果を確認して袋かけを実施します。

1.摘果 3月上旬、種子の入った健全な果実3個に摘果し、袋のかけ替えを行う。

2.防除 ●灰斑病防除(春葉伸長期～春葉硬化期)

温州みかん (露地)

1. 整枝せん定

せん定時期を2月中旬から下旬にかけて、かぶり枝を主体に間引きせん定に重点をおく。

2. 防除

- そうか病／春葉では発芽期(芽長5mm～1cm)から伸長停止まで
- 黒点病／梅雨時期と秋雨(8月下旬～9月上旬)の頃
- 訪花害虫／満開期
- ミカンハモグリガおよびアブラムシ類／同一薬剤を連用しない



家庭菜園



茎ブロッコリー 歯ごたえのある茎がおいしい

1. 植えつけ

30~40cm離して2株植え

根のまわりについている土(根鉢)をくずさないように、浅く植えます。



種から育てるのは手間がかかるので苗を購入するとよい。ポットより大きめの穴をあける。苗をポットから抜いて植える。



苗の土の高さが、プランターの土の面より少し上になるように浅く植える。株と株の間は30~40cmの間隔をあける。植え付け後、水やりする。

2. 追肥

3週間に1回の追肥を

植えつけから2週間くらいたって生長を始めた後、株まわりに追肥をします。以後3週間に1回の追肥を続けます。



1株あたり10gの化成肥料を株のまわりにまく。



土が減ってきたときは、新しい土を足す。

3. 収穫

わき芽が次々と生長

主枝の花蕾は小ぶりのうちに収穫し、葉のつけ根にできるわき芽を伸ばすようにします。



てっぺんの花蕾の直径が5cmくらいになったら、切り取る。



わき芽の花蕾が直径3cmくらいになったら収穫する。おいしい茎を長くつけて切り取る。

★3月の運勢★

獅子座 7/23~8/22

【全体運】 高齢者との交流から幸運が舞い込みます。新企画は経験談や前例を参考に。転ばぬ先のつえが大きな力を発揮します
 【健康運】 人気の健康法にツキがあります。お試しを
 【幸運の食べ物】 タマネギ

乙女座 8/23~9/22

【全体運】 気になっていた問題が急浮上しそう。用事は早めに片付け憂いを残さないように。物やお金の貸し借りは回避を
 【健康運】 疲れが出がち。休憩、休養でリフレッシュ
 【幸運の食べ物】 パセリ